

東京愛犬専門学校 愛犬総合学科(ドッグトレーナーコース)			
授業科目	総合学習 I	必修・選択区分	必修
		授業回数	時間数
対象年次	1年	授業形態	29 講義
担当教員 実務経験○	植村豊(JKC全犬種審査員、JKCTリマー師範・試験委員、JKCハンドラー教士・試験委員、JKC訓練教士)、クラス担任、就職担当、外部講師		
授業概要	普段の授業では体験できない団体行動、集団生活を学ぶ。・就職活動時や就職後に必要となるマナーや常識を学ぶ。内容に変更がある際には事前に連絡します。		
到達目標	社会性を身に着けること。就職活動時や就職後に必要となるビジネススキルを身に着ける。		
テキスト・参考書等			
評価方法	出席率80%以上		
授業計画及び学習の内容			
1	入学式		
2	入学式		
3	就学規則		
4	就学規則		
5	就学規則		
6	ORT		
7	ORT		
8	ORT		
9	ORT		
10	ORT		
11	ORT		
12	講義準備		
13	講義準備		
14	講義準備		
15	器具配布		
16	器具配布		
17	器具配布		
18	課外研修	10月頃実施予定	
19	課外研修	10月頃実施予定	
20	課外研修	10月頃実施予定	
21	特別講義	シャンプー	
22	特別講義	シャンプー	
23	特別講義	シャンプー	
24	特別講義	ハサミ・バリカン	
25	特別講義	ハサミ・バリカン	
26	特別講義	ハサミ・バリカン	
27	特別講義		
28	大掃除		
29	終業式		

東京愛犬専門学校 愛犬総合学科(ドッグトレーナーコース)				
授業科目	総合学習Ⅱ	必修・選択区分		必修
		授業回数		時間数
対象年次	1年	授業形態		29 講義
担当教員 実務経験○	植村豊(JKC全犬種審査員、JKCトリマー師範・試験委員、JKCハンドラー教士・試験委員、JKC訓練教士)、クラス担任、就職担当、外部講師			
授業概要	普段の授業では体験できない団体行動、集団生活を学ぶ。・就職活動時や就職後に必要となるマナーや常識を学ぶ。内容に変更がある際には事前に連絡します。			
到達目標	社会性を身に着けること。就職活動時や就職後に必要となるビジネススキルを身に着ける。			
テキスト・参考書等				
評価方法	出席率80%以上			
授業計画及び学習の内容				
1	始業式			
2	研修旅行①	6月実施予定		
3	研修旅行②	6月実施予定		
4	研修旅行③	6月実施予定		
5	研修旅行④	6月実施予定		
6	研修旅行⑤	6月実施予定		
7	研修旅行⑥	6月実施予定		
8	研修旅行⑦	6月実施予定		
9	研修旅行⑧	6月実施予定		
10	研修旅行⑨	6月実施予定		
11	研修旅行⑩	6月実施予定		
12	研修旅行⑪	6月実施予定		
13	研修旅行⑫	6月実施予定		
14	大掃除			
15	終業式			
16	就職関係①	就職特別講義(就職担当)		
17	就職関係②	就職特別講義(就職担当)		
18	就職関係③	就職特別講義(就職担当)		
19	就職関係④	就職特別講義(就職担当)		
20	就職関係⑤	就職特別講義(就職担当)		
21	就職関係⑥	就職特別講義(就職担当)		
22	就職関係⑦	就職特別講義(就職担当)		
23	就職関係⑧	就職特別講義(就職担当)		
24	試験			
25	試験			
26	試験			
27	課外研修	ドッグショー(12月)		
28	課外研修	ドッグショー(12月)		
29	課外研修	ドッグショー(12月)		

東京愛犬専門学校 愛犬総合学科(ドッグトレーナーコース)			
授業科目	総合学習Ⅲ	必修・選択区分	必修
		授業回数	時間数 29
対象年次	1年	授業形態	講義
担当教員 実務経験○	植村豊(JKC全犬種審査員、JKCトリマー師範・試験委員、JKCハンドラー教士・試験委員、JKC訓練教士)、クラス担任、就職担当、外部講師		
授業概要	普段の授業では体験できない団体行動、集団生活を学ぶ。・就職活動時や就職後に必要となるマナーや常識を学ぶ。内容に変更がある際には事前に連絡します。		
到達目標	社会性を身に着けること。就職活動時や就職後に必要となるビジネススキルを身に着ける。		
テキスト・参考書等			
評価方法	出席率80%以上		
授業計画及び学習の内容			
1	始業式		
2	接遇マナー①		
3	接遇マナー②		
4	接遇マナー③		
5	接遇マナー④		
6	接遇マナー⑤		
7	接遇マナー⑥		
8	接遇マナー⑦		
9	接遇マナー⑧		
10	接遇マナー⑨		
11	業界説明	就職説明	
12	業界説明	就職説明	
13	業界説明	就職説明	
14	トリミング競技会予選①		
15	トリミング競技会予選②		
16	トリミング競技会予選③		
17	トリミング競技会予選④		
18	トリミング競技会予選⑤		
19	トリミング競技会予選⑥		
20	大掃除		
21	大掃除		
22	終業式		
23	卒業式	参列	
24	卒業式	参列	
25	健康診断		
26	健康診断		
27	健康診断		
28	特別講義		
29	特別講義		

東京愛犬専門学校 愛犬総合学科(ドッグトレーナーコース)				
授業科目	総合学習Ⅳ	必修・選択区分		必修
		授業回数	26	時間数
対象年次	2年	授業形態	講義	
担当教員 実務経験○	植村豊(JKC全犬種審査員、JKCトリマー師範・試験委員、JKCハンドラー教士・試験委員、JKC訓練教士)、クラス担任、就職担当、外部講師			
授業概要	普段の授業では体験できない団体行動、集団生活を学ぶ。・就職活動時や就職後に必要となるマナーや常識を学ぶ。			
到達目標	社会性を身に着けること。就職活動時や就職後に必要となるビジネススキルを身に着ける。			
テキスト・参考書等				
評価方法	出席率80%以上			
授業計画及び学習の内容				
1	入学式	参列		
2	入学式	参列		
3	始業式			
4	業界説明	就職面談		
5	業界説明	就職面談		
6	業界説明	就職面談		
7	業界説明	企業説明会		
8	業界説明	企業説明会		
9	業界説明	企業説明会		
10	特別講義	ボランティアセミナー(外部講師)		
11	特別講義	ボランティアセミナー(外部講師)		
12	特別講義	ボランティアセミナー(外部講師)		
13	健康診断			
14	健康診断			
15	健康診断			
16	大掃除			
17	終業式			
18	課外研修	ドッグショー(4月)		
19	課外研修	ドッグショー(4月)		
20	課外研修	ドッグショー(4月)		
21	課外研修	ドッグショー(4月)		
22	課外研修	ドッグショー(4月)		
23	課外研修	ドッグショー(4月)		
24	特別講義			
25	特別講義			
26	特別講義			

東京愛犬専門学校 愛犬総合学科(ドッグトレーナーコース)				
授業科目	総合学習 V	必修・選択区分		必修
		授業回数	授業形態	時間数
対象年次	2年			26 講義
担当教員 実務教員○	植村豊(JKC全犬種審査員、JKCトリマー師範・試験委員、JKCハンドラー教士・試験委員、JKC訓練教士)、クラス担任、就職担当、外部講師			
授業概要	普段の授業では体験できない団体行動、集団生活を学ぶ。・就職活動時や就職後に必要となるマナーや常識を学ぶ。内容に変更がある際には事前に連絡します。			
到達目標	社会性を身に着けること。就職活動時や就職後に必要となるビジネススキルを身に着ける。			
テキスト・参考書等				
評価方法	出席率80%以上			
授業計画及び学習の内容				
1	始業式	参列		
2	研修旅行	ドッグフィールド競技会		
3	研修旅行	ドッグフィールド競技会		
4	研修旅行	ドッグフィールド競技会		
5	研修旅行	ドッグフィールド競技会		
6	研修旅行	ドッグフィールド競技会		
7	研修旅行	ドッグフィールド競技会		
8	研修旅行	ドッグフィールド競技会		
9	研修旅行	ドッグフィールド競技会		
10	研修旅行	ドッグフィールド競技会		
11	研修旅行	ドッグフィールド競技会		
12	研修旅行	ドッグフィールド競技会		
13	研修旅行	ドッグフィールド競技会		
14	研修旅行	ドッグフィールド競技会		
15	研修旅行	ドッグフィールド競技会		
16	研修旅行	ドッグフィールド競技会		
17	研修旅行	ドッグフィールド競技会		
18	研修旅行	ドッグフィールド競技会		
19	研修旅行	ドッグフィールド競技会		
20	課外研修	ドッグショー(12月)		
21	課外研修	ドッグショー(12月)		
22	課外研修	ドッグショー(12月)		
23	特別講義①			
24	特別講義②			
25	特別講義③			
26	終業式			

東京愛犬専門学校 愛犬総合学科(ドッグトレーナーコース)			
授業科目	総合学習Ⅵ	必修・選択区分	必修
		授業回数	時間数
対象年次	2年	授業形態	26 講義
担当教員 実務教員○	植村豊(JKC全犬種審査員、JKCトリマー師範・試験委員、JKCハンドラー教士・試験委員、JKC訓練教士)、クラス担任、就職担当、外部講師		
授業概要	普段の授業では体験できない団体行動、集団生活を学ぶ。・就職活動時や就職後に必要となるマナーや常識を学ぶ。内容に変更がある際には事前に連絡します。		
到達目標	社会性を身に着けること。就職活動時や就職後に必要となるビジネススキルを身に着ける。		
テキスト・参考書等			
評価方法	出席率80%以上		
授業計画及び学習の内容			
1	始業式		
2	トリミング競技会予選①		
3	トリミング競技会予選②		
4	トリミング競技会予選③		
5	トリミング競技会予選④		
6	トリミング競技会予選⑤		
7	トリミング競技会予選⑥		
8	特別講義	租税	
9	特別講義	租税	
10	特別講義	租税	
11	大掃除		
12	卒業準備		
13	卒業準備		
14	卒業準備		
15	卒業式		
16	卒業式		
17	卒業式		
18	試験		
19	試験		
20	試験		
21	特別講義①		
22	特別講義②		
23	特別講義③		
24	特別講義④		
25	特別講義⑤		
26	特別講義⑥		

東京愛犬専門学校 愛犬総合学科(ドッグトレーナーコース)				
授業科目	美術 I	必修・選択区分		必修
		授業回数		時間数
対象年次	1年	授業形態		18 講義
担当教員 実務経験○	田下政雄 (JKCハンドラー師範・試験委員、JKC/AKU/FCI全犬種審査員)			
授業概要	デッサン等を通じてバランスのとり方やデザイン性を学びながら、同時に動物の形態機能を学び、動物看護学やメディカルグルーミングの知識やスキルに生かしていく。			
到達目標	美学で学んだ動物の形態機能の知識を通して動物看護学やメディカルグルーミングに応用させる知識、スキル、感性を習得する。			
テキスト・参考書等				
評価方法	出席率80%以上、作品の提出			
授業計画及び学習の内容				
1	鉛筆画 コッカーの歩様	原稿に基盤目の線書き入れ、白紙にも同様の線を書き、線を頼りに書き写す。		
2	鉛筆画 コッカーの歩様	原稿に基盤目の線書き入れ、白紙にも同様の線を書き、線を頼りに書き写す。		
3	鉛筆画 コッカーの歩様	原稿に基盤目の線書き入れ、白紙にも同様の線を書き、線を頼りに書き写す。		
4	鉛筆画 犬の眼	前回同様の手順で2倍に引き延ばす。		
5	鉛筆画 犬の眼	前回同様の手順で2倍に引き延ばす。		
6	鉛筆画 犬の眼	前回同様の手順で2倍に引き延ばす。		
7	鉛筆画 犬の鼻	全て前回同様。見え難い部分は想像力、観察力が試される。		
8	鉛筆画 犬の鼻	全て前回同様。見え難い部分は想像力、観察力が試される。		
9	鉛筆画 犬の鼻	全て前回同様。見え難い部分は想像力、観察力が試される。		
10	鉛筆画 ポメラニアン顔	今迄に画いてきた眼、鼻を参考にして、毛の画き方が加わる。		
11	鉛筆画 ポメラニアン顔	今迄に画いてきた眼、鼻を参考にして、毛の画き方が加わる。		
12	鉛筆画 ポメラニアン顔	今迄に画いてきた眼、鼻を参考にして、毛の画き方が加わる。		
13	鉛筆画 デッサン(手)	自分の手を見ながら、鉛筆(11B)と綿棒を使用してリアルに。		
14	鉛筆画 デッサン(手)	自分の手を見ながら、鉛筆(11B)と綿棒を使用してリアルに。		
15	鉛筆画 デッサン(手)	自分の手を見ながら、鉛筆(11B)と綿棒を使用してリアルに。		
16	鉛筆画 透視図(木材)	透視図法の説明。二点透視図法で角材の木目を画く。		
17	鉛筆画 透視図(木材)	透視図法の説明。二点透視図法で角材の木目を画く。		
18	鉛筆画 透視図(木材)	透視図法の説明。二点透視図法で角材の木目を画く。		

東京愛犬専門学校 愛犬総合学科(ドッグトレーナーコース)			
授業科目	美術Ⅱ	必修・選択区分	必修
		授業回数	時間数 15
対象年次	2年	授業形態	講義
担当教員 実務経験○	田下政雄 (JKCハンドラー師範・試験委員、JKC/AKU/FCI全犬種審査員)		
授業概要	デッサン等を通してバランスのとり方やデザイン性を学ぶ。		
到達目標	普段、犬をどの程度観察しているのか。トリミングも画もバランスが重要。		
テキスト・参考書等			
評価方法	出席率80%以上・作品の提出		
回	授業計画及び学習の内容		
1	鉛筆画(解剖学上の理想的骨格)	基盤目法によりシェパードの骨格をすべて画く。	
2	鉛筆画(解剖学上の理想的骨格)	基盤目法によりシェパードの骨格をすべて画く。	
3	鉛筆画(解剖学上の理想的骨格)	基盤目法によりシェパードの骨格をすべて画く。	
4	鉛筆画(コッカースパニエル)	立姿図。少しでも良い犬に見えるよう工夫すること。	
5	鉛筆画(コッカースパニエル)	立姿図。少しでも良い犬に見えるよう工夫すること。	
6	鉛筆画(コッカースパニエル)	立姿図。少しでも良い犬に見えるよう工夫すること。	
7	鉛筆画(チワワの頭部)	綿棒を使用しソフトな仕上げを学ぶ。	
8	鉛筆画(チワワの頭部)	綿棒を使用しソフトな仕上げを学ぶ。	
9	鉛筆画(チワワの頭部)	綿棒を使用しソフトな仕上げを学ぶ。	
10	鉛筆画(猫)	猫特有の縞模様、シワ、短い毛を表現する。	
11	鉛筆画(猫)	猫特有の縞模様、シワ、短い毛を表現する。	
12	鉛筆画(猫)	猫特有の縞模様、シワ、短い毛を表現する。	
13	鉛筆画(シェルティ)	いままでの集大成。眼、鼻、口、短・長毛及びバランス等、総合的な進歩が伺える。	
14	鉛筆画(シェルティ)	いままでの集大成。眼、鼻、口、短・長毛及びバランス等、総合的な進歩が伺える。	
15	鉛筆画(シェルティ)	いままでの集大成。眼、鼻、口、短・長毛及びバランス等、総合的な進歩が伺える。	

東京愛犬専門学校 愛犬総合学科(ドッグトレーナーコース)				
授業科目	犬学 I	必修・選択区分	必修	
		授業回数	時間数	30
対象年次	1年	授業形態	講義	
担当教員 実務経験○	渡辺まゆみ(JKC訓練教士、JKCTリマー教士、JKC全犬種群審査員)			
授業概要	犬の種類や犬種ごとの特長、習性、能力や生態について体系的に学ぶ。			
到達目標	犬に対する総合的な理解を深め、トリマーという仕事に活かせる知識を身に着ける。			
テキスト・参考書等	愛玩動物飼養管理士2級教本			
評価方法	出席率80%以上・筆記試験			
授業計画及び学習の内容				
1	第一章 犬の起源と分類学	イヌ科の祖先		
2	第一章 犬の起源と分類学	イヌのルーツの研究		
3	第一章 犬の起源と分類学	分類学、犬の永久歯と乳歯		
4	第二章 人類とイヌ	人類とイヌの関係		
5	第二章 人類とイヌ	イヌの特性		
6	第二章 人類とイヌ	イヌの特性、収束進化		
7	第三章 家畜化による犬の訓化現象	変化の特長、体積・体型の変化		
8	第三章 家畜化による犬の訓化現象	変化の特長、頭部の変化		
9	第三章 家畜化による犬の訓化現象	変化の特長、体軀の変化、心理的变化、生理的变化		
10	第四章 人と動物の関係	家庭動物、産業動物、動物福祉		
11	第四章 人と動物の関係	実験動物、3Rの原則、展示動物		
12	第四章 人と動物の関係	環境エンリッチメント、野生動物		
13	第五章 犬の活用と犬種	番犬、獣猟犬		
14	第五章 犬の活用と犬種	鳥猟犬、牧羊犬		
15	第五章 犬の活用と犬種	牧畜犬、そり犬、		
16	第五章 犬の活用と犬種	闘犬、軍用犬		
17	第五章 犬の活用と犬種	警察犬、盲導犬		
18	第五章 犬の活用と犬種	介助犬、聴導犬		
19	第五章 犬の活用と犬種	身体障がい者補助犬法、救助犬		
20	第五章 犬の活用と犬種	税関犬、競走犬、演技犬、愛玩犬		
21	第五章 犬の活用と犬種	ファンリテイドッグ、動物介在療法		
22	第五章 犬の活用と犬種	動物介在活動、動物介在教育		
23	第六章 犬の成長と年齢	犬の一生、体の大きさ、新生子期、移行期		
24	第六章 犬の成長と年齢	幼年期、成長期、成年期、高齢期		
25	第七章 犬の感覚	環境世界、臭覚		
26	第七章 犬の感覚	聴覚		
27	第七章 犬の感覚	視覚		
28	第七章 犬の感覚	味覚、皮膚感覚		
29	第八章 犬体名称	犬の体各部位の名称		
30	第九章 骨格名称	犬の骨格各部位の名称		

東京愛犬専門学校 愛犬総合学科(ドッグトレーナーコース)				
授業科目	犬学Ⅱ	必修・選択区分	必修	
		授業回数	時間数	30
対象年次	2年	授業形態	講義	
担当教員	担任			
授業概要	犬体やトリミングについて学ぶ。主に課題提出となる。			
到達目標	犬に対する総合的な理解を深めトリマーという仕事に活かせる知識を身に着ける。			
テキスト・参考書等	使用するテキストなどは担任より説明いたします。			
評価方法	課題の提出(月1回程度)によって出席となり、未提出は欠席となります。			
授業計画及び学習の内容				
1-30	犬学Ⅱ	犬体やトリミングについて学ぶ。主に課題提出となる。		

東京愛犬専門学校 愛犬総合学科(ドッグトレーナーコース)				
授業科目	猫学 I	必修・選択区分	必修	
		授業回数	時間数	18
対象年次	1年	授業形態	講義	
担当教員 実務経験○	梅山明美(ペットショップ経営、ブリーダー、キャットクラブの会長、審査員)			
授業概要	猫の種類、特長、生態をはじめ、キャットショーやグルーミングについて学習する。			
到達目標	猫に対する総合的な知識を習得し、卒業後に幅広く活躍できる人材を育成する。			
テキスト・参考書等	猫の教科書(緑書房)			
評価方法	出席率80%以上			
授業計画及び学習の内容				
1	猫科、猫の歴史について	猫科のイエネコ、世界・日本における歴史		
2	猫科、猫の歴史について	猫科のイエネコ、世界・日本における歴史		
3	猫科、猫の歴史について	猫科のイエネコ、世界・日本における歴史		
4	猫の種類について(1)	猫の種類、短毛・長毛について		
5	猫の種類について(1)	猫の種類、短毛・長毛について		
6	猫の種類について(1)	猫の種類、短毛・長毛について		
7	猫の種類について(2)	猫の種類、短毛・長毛について		
8	猫の種類について(2)	猫の種類、短毛・長毛について		
9	猫の種類について(2)	猫の種類、短毛・長毛について		
10	猫の用語について	猫界で使う用語		
11	猫の用語について	猫界で使う用語		
12	猫の用語について	猫界で使う用語		
13	猫の毛色について(1)	一般的な毛色の区分		
14	猫の毛色について(1)	一般的な毛色の区分		
15	猫の毛色について(1)	一般的な毛色の区分		
16	猫の毛色について(2)	種類別の毛色		
17	猫の毛色について(2)	種類別の毛色		
18	猫の毛色について(2)	種類別の毛色		

東京愛犬専門学校 愛犬総合学科(ドッグトレーナーコース)				
授業科目	猫学Ⅱ	必修・選択区分	必修	
		授業回数	時間数	18
対象年次	2年	授業形態		講義
担当教員 実務経験○	梅山明美(ペットショップ経営、ブリーダー、キャットクラブの会長、審査員)			
授業概要	猫の種類、特長、生態をはじめ、キャットショーやグルーミングについて学習する。			
到達目標	猫に対する総合的な知識を習得し、卒業後に幅広く活躍できる人材を育成する。			
テキスト・参考書等	猫の教科書(緑書房)			
評価方法	出席率80%以上・筆記試験(60点以上)			
授業計画及び学習の内容				
1	猫の飼い方	育て方、病気について		
2	猫の飼い方	育て方、病気について		
3	猫の飼い方	育て方、病気について		
4	猫の行動、習性	猫の基礎的な行動や習性について		
5	猫の行動、習性	猫の基礎的な行動や習性について		
6	猫の行動、習性	猫の基礎的な行動や習性について		
7	猫のスタンダード①	猫のスタンダード		
8	猫のスタンダード①	猫のスタンダード		
9	猫のスタンダード①	猫のスタンダード		
10	猫のスタンダード②	猫のスタンダード		
11	猫のスタンダード②	猫のスタンダード		
12	猫のスタンダード②	猫のスタンダード		
13	猫のトリミング	保定、トリミングの仕方について		
14	猫のトリミング	保定、トリミングの仕方について		
15	猫のトリミング	保定、トリミングの仕方について		
16	社会における猫	地域猫災害についてなど		
17	社会における猫	地域猫災害についてなど		
18	社会における猫	地域猫災害についてなど		

東京愛犬専門学校 愛犬美容学科(ドッグトレーナーコース)					
授業科目	スタンダード I	必修・選択区分		必修	
		授業回数		時間数	30
対象年次	1年	授業形態		講義	
担当教員 実務経験○	芝田早苗(JKCトリマーA級、JKCハンドラーA級、JKC単犬種審査員、JKCアニマル衛生士・ペット栄養管理士)				
授業概要	各犬種の歴史や特徴について学ぶ。 ※本来は36時間のため残りの6時間はグルーミング実習 I で実施予定。				
到達目標	各犬種の歴史や特徴に関する知識を深める。犬種標準を理解する。				
テキスト・参考書等	全犬種標準書				
評価方法	出席率80%以上				
回	授業計画及び学習の内容				
1	ジャーマン・シェパード・ドッグ	沿革とスタンダード解説			
2	ジャーマン・シェパード・ドッグ	沿革とスタンダード解説			
3	ジャーマン・シェパード・ドッグ	沿革とスタンダード解説			
4	オールド・イングリッシュ・シープドッグ	沿革とスタンダード解説			
5	オールド・イングリッシュ・シープドッグ	沿革とスタンダード解説			
6	オールド・イングリッシュ・シープドッグ	沿革とスタンダード解説			
7	ウェルッシュ・コーギー・ペンブローク	沿革とスタンダード解説			
8	ウェルッシュ・コーギー・ペンブローク	沿革とスタンダード解説			
9	ウェルッシュ・コーギー・ペンブローク	沿革とスタンダード解説			
10	ボクサー	沿革とスタンダード解説			
11	ボクサー	沿革とスタンダード解説			
12	ボクサー	沿革とスタンダード解説			
13	ブルドッグ	沿革とスタンダード解説			
14	ブルドッグ	沿革とスタンダード解説			
15	ブルドッグ	沿革とスタンダード解説			
16	ドーベルマン	沿革とスタンダード解説			
17	ドーベルマン	沿革とスタンダード解説			
18	ドーベルマン	沿革とスタンダード解説			
19	セント・バーナード	沿革とスタンダード解説			
20	セント・バーナード	沿革とスタンダード解説			
21	セント・バーナード	沿革とスタンダード解説			
22	ダックスフント	沿革とスタンダード解説			
23	ダックスフント	沿革とスタンダード解説			
24	ダックスフント	沿革とスタンダード解説			
25	秋田犬	沿革とスタンダード解説			
26	秋田犬	沿革とスタンダード解説			
27	秋田犬	沿革とスタンダード解説			
28	柴犬	沿革とスタンダード解説			
29	柴犬	沿革とスタンダード解説			
30	柴犬	沿革とスタンダード解説			

東京愛犬専門学校		愛犬美容学科(ドッグトレーナーコース)			
授業科目	スタンダードⅡ	必修・選択区分		必修	
		授業回数		時間数	30
対象年次	2年	授業形態		講義	
担当教員 実務経験○	芝田早苗(JKCトリマーA級、JKCハンドラーA級、JKC単犬種審査員、JKCアニマル衛生士・ペット栄養管理士)				
授業概要	各犬種の歴史や特徴について学ぶ。 ※36時間のため残り6時間はグルーミング実習Vで実施。				
到達目標	各犬種の歴史や特徴に関する知識を深める。犬種標準を理解する。				
テキスト・参考書等	全犬種標準書				
評価方法	出席率80%以上				
回	授業計画及び学習の内容				
1	アイリッシュ・セター	沿革とスタンダード解説			
2	アイリッシュ・セター	沿革とスタンダード解説			
3	アイリッシュ・セター	沿革とスタンダード解説			
4	ラブラドル・レトリバー	沿革とスタンダード解説			
5	ラブラドル・レトリバー	沿革とスタンダード解説			
6	ラブラドル・レトリバー	沿革とスタンダード解説			
7	キャバリア・キング・チャールズ・スパニエル	沿革とスタンダード解説			
8	キャバリア・キング・チャールズ・スパニエル	沿革とスタンダード解説			
9	キャバリア・キング・チャールズ・スパニエル	沿革とスタンダード解説			
10	チワワ	沿革とスタンダード解説			
11	チワワ	沿革とスタンダード解説			
12	チワワ	沿革とスタンダード解説			
13	パピヨン	沿革とスタンダード解説			
14	パピヨン	沿革とスタンダード解説			
15	パピヨン	沿革とスタンダード解説			
16	ペキニーズ	沿革とスタンダード解説			
17	ペキニーズ	沿革とスタンダード解説			
18	ペキニーズ	沿革とスタンダード解説			
19	アフガンハウンド	沿革とスタンダード解説			
20	アフガンハウンド	沿革とスタンダード解説			
21	アフガンハウンド	沿革とスタンダード解説			
22	イタリアン・グレーハウンド	沿革とスタンダード解説			
23	イタリアン・グレーハウンド	沿革とスタンダード解説			
24	イタリアン・グレーハウンド	沿革とスタンダード解説			
25	FCIグループ解説	沿革とスタンダード解説			
26	FCIグループ解説	沿革とスタンダード解説			
27	FCIグループ解説	沿革とスタンダード解説			
28	FCIグループ解説	沿革とスタンダード解説			
29	FCIグループ解説	沿革とスタンダード解説			
30	FCIグループ解説	沿革とスタンダード解説			

東京愛犬専門学校 愛犬総合学科(ドッグトレーナーコース)

授業科目	愛玩動物飼養管理	必修・選択区分	必修	
		授業回数	時間数	24
対象年次	1年	授業形態	講義	
担当教員 実務経験○	日本動物愛玩動物協会 山田広美・山崎いく子・平井潤子			
授業概要	愛玩動物の習性や正しい飼い方、動物関係法令、動物愛護の精神などを学ぶ。 講義:1-12回・スクーリング:13-18回 課題取り組み:19-21回・試験:22-24回			
到達目標	ライセンス取得。日本愛玩動物協会/愛玩動物飼養管理士2級			
テキスト・参考書 等	愛玩動物飼養管理士2級教本			
評価方法	出席率80%以上・ライセンス試験			

授業計画及び学習の内容

1	小動物の飼養管理	感染症法、特定外来生物法、重歯目、げっ歯目、爬虫類、有鱗目
2	小動物の飼養管理	感染症法、特定外来生物法、重歯目、げっ歯目、爬虫類、有鱗目
3	小動物の飼養管理	感染症法、特定外来生物法、重歯目、げっ歯目、爬虫類、有鱗目
4	小動物の飼養管理	感染症法、特定外来生物法、重歯目、げっ歯目、爬虫類、有鱗目
5	小動物の飼養管理	感染症法、特定外来生物法、重歯目、げっ歯目、爬虫類、有鱗目
6	猫の飼養管理	動物の飼養管理、飼養衛生、猫の飼養管理
7	猫の飼養管理	動物の飼養管理、飼養衛生、猫の飼養管理
8	猫の飼養管理	動物の飼養管理、飼養衛生、猫の飼養管理
9	猫の飼養管理	動物の飼養管理、飼養衛生、猫の飼養管理
10	ペットの防災対策	災害時動物救護の歴史やガイドライン、同行避難
11	ペットの防災対策	災害時動物救護の歴史やガイドライン、同行避難
12	ペットの防災対策	災害時動物救護の歴史やガイドライン、同行避難
13	2級愛玩動物飼養管理スクーリング	愛玩動物飼養管理士とは、人と動物の関係学、動物関係法令
14	2級愛玩動物飼養管理スクーリング	愛玩動物飼養管理士とは、人と動物の関係学、動物関係法令
15	2級愛玩動物飼養管理スクーリング	愛玩動物飼養管理士とは、人と動物の関係学、動物関係法令
16	2級愛玩動物飼養管理スクーリング	動物の飼養管理(総論、各論①犬と猫、各論②その他)、動物のしつけ
17	2級愛玩動物飼養管理スクーリング	動物の飼養管理(総論、各論①犬と猫、各論②その他)、動物のしつけ
18	2級愛玩動物飼養管理スクーリング	動物の飼養管理(総論、各論①犬と猫、各論②その他)、動物のしつけ
19	課題報告問題	課題取り組み①
20	課題報告問題	課題取り組み①
21	課題報告問題	課題取り組み①
22	試験	
23	試験	
24	試験	

東京愛犬専門学校 愛犬総合学科(ドッグトレーナーコース)				
授業科目	ハンドリング I	必修・選択区分		必修
		授業回数		時間数
対象年次	1年	授業形態		27 講義・実習
担当教員 実務経験○	植村豊(JKC全犬種審査員、JKCTリマー師範・試験委員、JKCハンドラー教士・試験委員、JKC訓練教士)			
授業概要	ハンドリングとドッグショーの仕組みを理解する。			
到達目標	ハンドリングとドッグショーの仕組みを理解し、必要なスキルを身に着ける。			
テキスト・参考書等	JKCハンドリングマニュアル			
評価方法	出席率80%以上			
授業計画及び学習の内容				
1	ハンドリングマニュアル	ハンドリングの基本		
2	ハンドリングマニュアル	ハンドリングの基本		
3	ハンドリングマニュアル	ハンドリングの基本		
4	ショーのためのグルーミング	ショーでのグルーミング及びトリミング方法		
5	ショーのためのグルーミング	ショーでのグルーミング及びトリミング方法		
6	ショーのためのグルーミング	ショーでのグルーミング及びトリミング方法		
7	各犬種の見せ方	プードル、シェットランド・シープドッグ、ヨークシャーテリア、ダックスフンド		
8	各犬種の見せ方	プードル、シェットランド・シープドッグ、ヨークシャーテリア、ダックスフンド		
9	各犬種の見せ方	プードル、シェットランド・シープドッグ、ヨークシャーテリア、ダックスフンド		
10	ハンドリング実習	ハンドリング実習		
11	ハンドリング実習	ハンドリング実習		
12	ハンドリング実習	ハンドリング実習		
13	ドッグショーでのマナーとルール	ショーリングへの実習		
14	ドッグショーでのマナーとルール	ショーリングへの実習		
15	ドッグショーでのマナーとルール	ショーリングへの実習		
16	ハンドリング実習	ハンドリング実習		
17	ハンドリング実習	ハンドリング実習		
18	ハンドリング実習	ハンドリング実習		
19	審査を受ける準備	マナーとテクニック		
20	審査を受ける準備	マナーとテクニック		
21	審査を受ける準備	マナーとテクニック		
22	パピートレーニング①	子犬のトレーニングの仕方①		
23	パピートレーニング①	子犬のトレーニングの仕方①		
24	パピートレーニング①	子犬のトレーニングの仕方①		
25	パピートレーニング②	子犬のトレーニングの仕方②		
26	パピートレーニング②	子犬のトレーニングの仕方②		
27	パピートレーニング②	子犬のトレーニングの仕方②		

東京愛犬専門学校 愛犬総合学科(ドッグトレーナーコース)				
授業科目	ハンドリングⅡ	必修・選択区分	必修	
		授業回数	時間数	27
対象年次	2年	授業形態	実習	
担当教員 実務教員○	黒木厚好(JKC中央ハンドリング委員会委員長、JKCハンドラー教士・試験委員、JKC単犬種審査員)			
授業概要	ハンドリングとドッグショーの仕組みを理解する。			
到達目標	JKCハンドラーC級ライセンス取得を目標とする			
テキスト・参考書等	ハンドリングマニュアル教本			
評価方法	出席率80%以上・試験			
授業計画及び学習の内容				
1	ハンドリング実習	ハンドリング実習		
2	ハンドリング実習	ハンドリング実習		
3	ハンドリング実習	ハンドリング実習		
4	ハンドリング実習	ハンドリング実習		
5	ハンドリング実習	ハンドリング実習		
6	ハンドリング実習	ハンドリング実習		
7	ハンドリング実習	ハンドリング実習		
8	ハンドリング実習	ハンドリング実習		
9	ハンドリング実習	ハンドリング実習		
10	ハンドリング実習	ハンドリング実習		
11	ハンドリング実習	ハンドリング実習		
12	ハンドリング実習	ハンドリング実習		
13	ハンドリング実習	ハンドリング実習		
14	ハンドリング実習	ハンドリング実習		
15	ハンドリング実習	ハンドリング実習		
16	ハンドリング実習	ハンドリング実習		
17	ハンドリング実習	ハンドリング実習		
18	ハンドリング実習	ハンドリング実習		
19	ハンドリング実習	ハンドリング実習		
20	ハンドリング実習	ハンドリング実習		
21	ハンドリング実習	ハンドリング実習		
22	ハンドリング実習	ハンドリング実習		
23	ハンドリング実習	ハンドリング実習		
24	ハンドリング実習	ハンドリング実習		
25	ハンドリング実習	ハンドリング実習		
26	ハンドリング実習	ハンドリング実習		
27	ハンドリング実習	ハンドリング実習		

東京愛犬専門学校 愛犬総合学科(ドッグトレーナーコース)				
授業科目	訓練 I	必修・選択区分	必修	
		授業回数	時間数	25
対象年次	1年	授業形態	講義	
担当教員 実務経験○	村瀬英博(村瀬ドッグトレーニングセンター代表、救助犬訓練士協会理事長、国際救助犬連盟(IRO)公認審査員)			
授業概要	しつけ・訓練の入った救助犬を通して、犬の扱い方の基礎を実習を通して学ぶ。			
到達目標	適切な犬との関わり方や扱い方を身に着ける。			
テキスト・参考書等	ドッグトレーニングパーフェクトマニュアル			
評価方法	出席率80%以上			
回	授業計画及び学習の内容			
1～3	犬舎からの出し方	「状況、犬の様子の確認の仕方」、「扉の開け方」、「首輪」、「リードのつけ方」		
	犬を扱う前のチェック	犬の健康状態を体を触れたり、犬の様子を観察することで確認する。		
	犬の抱き方	犬の正しい抱き方と各部位の健康状態のチェックの仕方		
4～6	犬との触れ合い方①	リードの持ち方、首輪のつかみ方		
	犬との触れ合い方②	犬との遊び方、褒め方、撫で方		
	排泄の仕方	マナーを守った排泄の実践方法		
7～9	コミュニケーション方法①	犬に注目してもらう(アテンションを向ける)方法		
	コミュニケーション方法②	呼び戻しの方法		
	コミュニケーション方法③	歩調を合わせて一緒に歩く方法		
10～12	コミュニケーション方法⑤	基本的なコマンドの支持の出し方(お座り、伏せなど)		
	コミュニケーション方法⑥	基本的なコマンドの支持の出し方(待てなど)		
	しつけの重要性①	日常の健康管理(ブラシ、体ふき、耳掃除など)を実践する。		
13～15	しつけの重要性②	日常の健康管理(台の上で診察、爪切りなど)を実践する。		
	しつけの重要性③	公共の歩道などをマナーを守って散歩する。		
	しつけの重要性④	様々な状況で待つ練習(足元で待つ、会計時に待つ、赤信号で待つなど)		
16～18	犬種の特性や個性による扱い方の違い	上記の内容について異なった犬でも実践をすることで犬種の特性や個性に応じた扱い方や接し方の変え方を学ぶ。教育はされているが、若くエネルギッシュな個体、教育はされているが、一段と若く未熟な個体、犬種差や個体差の評価も行う。		
19～21	犬種の特性や個性による扱い方の違い			
22～24	犬種の特性や個性による扱い方の違い			
25	振り返り			

東京愛犬専門学校 愛犬総合学科(ドッグトレーナーコース)					
授業科目	訓練Ⅱ	必修・選択区分		必修	
		授業回数		時間数	25
対象年次	1年	授業形態		講義	
担当教員 実務経験○	鹿野正顕(学術博士、(株)Animal Life Solutions代表取締役社長、スタディ・ドッグスクール代表、日本ペットドッグトレーナーズ協会理事長)				
授業概要	「犬の生態・行動」、「学習の仕組み」、「家庭犬としての適切な管理」などを座学を中心に学ぶ				
到達目標	科学的な根拠に基づいた犬の習性や管理方法への知識を深める。				
テキスト・参考書等	ドッグトレーニングパーフェクトマニュアル				
評価方法	出席率80%以上・筆記試験およびレポート				
回	授業計画及び学習の内容				
1～3	行動が生じる仕組み	犬の行動が生じる仕組みと、行動に影響を与える要因			
	犬の行動特性	犬の生得的行動(習性)について			
	犬種の特長	犬種の作出と行動特性について(最新の研究内容)			
4～6	犬の家畜化の歴史	犬の家畜化の歴史と家畜化による変化や人と犬の関係について			
	犬の学習の仕組み①	オペラント条件付け			
	犬の学習の仕組み②	犬の学習原理とコマンドトレーニング			
7～9	犬の学習の仕組み③	古典的条件付け			
	犬の学習の仕組み④	馴化			
	栄養管理	犬の食事の選び方と与え方			
10～12	犬の行動発達	犬の行動発達と発達に応じた適切な管理について学ぶ			
	子犬のしつけ①	犬の社会化期、若齢期について学び、その時期のしつけの重要性を学ぶ。			
	子犬のしつけ②	子犬の頃のトイレのしつけ方			
13～15	子犬のしつけ③	子犬の頃からのトイレのしつけ方			
	子犬のしつけ④	健康管理に必要な保定、体を触れられることに慣らす方法とその指導法			
	子犬のしつけ⑤	各種健康管理の方法と慣らし方			
16～18	子犬のしつけ⑥	子犬の頃の散歩の仕方と練習方法			
	子犬のしつけ⑦	誤食・破壊行動の予防と犬の遊びの重要性			
	子犬のしつけ⑧	子犬の頃の食事の選び方と与え方			
19～21	子犬のしつけ⑨	社会化教育の方法と実践について			
	犬の問題行動①	犬のしつけ・訓練・問題行動の修正の違いについて			
	犬の問題行動②	犬の問題行動が生じる要因			
22～24	犬の問題行動③	犬の問題行動の扱い方・対応の仕方			
	犬の問題行動④	具体的な問題行動の対処方法			
	犬の最新知識	新たな研究で分かった犬の最新知識			
25	筆記試験				

東京愛犬専門学校 愛犬総合学科(ドッグトレーナーコース)				
授業科目	訓練Ⅲ	必修・選択区分	必修	
		授業回数	時間数	25
対象年次	1年	授業形態	講義・実習	
担当教員 実務経験○	村瀬英博(村瀬ドッグトレーニングセンター代表、救助犬訓練士協会理事長、国際救助犬連盟(IRO)公認審査員)、鹿野正顕(学術博士、(株)Animal Life Solutions代表取締役社長、スタディ・ドッグスクール代表、日本ペットドッグトレーナーズ協会理事長)			
授業概要	しつけ、訓練の入った救助犬を通しての犬の特殊能力と学習能力の高さについて学ぶ。一般飼い主の指導を目的としたトレーニング方法を学ぶ。			
到達目標	特別な訓練を体験する。飼い主にわかりやすいトレーニング方法を学ぶ。			
テキスト・参考書等	訓練マニュアル			
評価方法	出席率80%以上			
回	授業計画及び学習の内容			
1～3	オビディエンス①	停座・脚側行進①		
		停座・招呼①		
		伏臥・立止①		
4～6	オビディエンス②	持来・休止①		
		停座・脚側行進・停座・招呼・伏臥・立止		
7～9	救助犬トレーニング①	紐付き/紐無し脚側行進/群衆内行進/常歩行進中の伏臥及び招呼		
		遠隔操作による3姿勢/平面持来/移送		
		犬の食事の選び方と与え方		
10～12	救助犬トレーニング②	状況下に於ける休止/瓦礫歩行/トンネル通過		
		一本橋渡り/「ディスタンスコントロール」/遠隔操作による方向変換		
		可動式バレルブリッジ・水平梯子渡り		
13～15	飼い主指導を目的としたトレーニング方法①	リードの持ち方		
		誉め言葉の教え方/ご褒美の使い方/アテンションを向ける練習		
		呼び戻しの練習		
16～18	飼い主指導を目的としたトレーニング方法②	首輪を持つ練習/抱き方の練習		
		ご褒美の誘導を使ったコマンドの教え方		
		犬同士の挨拶のさせ方		
19～21	飼い主指導を目的としたトレーニング方法③	ご褒美の誘導を使ったコマンドの教え方(オスワリ/フセ/タッテ)		
		人が犬と挨拶をする方法/適切な触れ合い方		
22～24	飼い主指導を目的としたトレーニング方法④	横につく練習(ヒール/サイド)		
		歩調を合わせて歩く練習		
25	振り返り			

東京愛犬専門学校 愛犬総合学科(ドッグトレーナーコース)			
授業科目	訓練Ⅳ	必修・選択区分	必修
		授業回数	時間数 83
対象年次	2年	授業形態	講義・実習
担当教員 実務経験○	村瀬英博(村瀬ドッグトレーニングセンター代表、救助犬訓練士協会理事長、国際救助犬連盟(IRO)公認審査員)、鹿野正顕(学術博士、(株)Animal Life Solutions代表取締役社長、スタディ・ドッグスクール代表、日本ペットドッグトレーナーズ協会理事長)		
授業概要	一般飼い主の家庭犬を預かって幼稚園を開催する		
到達目標	家庭犬に必要な社会化教育を実践する		
テキスト・参考書等			
評価方法	出席率80%以上		
授業計画及び学習の内容			
1	座学 (幼稚園の業務について)	・幼稚園の1日の流れ	
2		・各業務(トレーニング)の目的と実施方法	
3		・業務の注意点	
4		・幼稚園の運営方法について(受け入れ基準、リスクマネージメント等)	
5		・接客、飼い主対応について	
6			
7	幼稚園実習 (開始)	・受け入れからお返しまでの業務を実施 (終日:6時間)	
8			
9			
10			
11			
12			
13	幼稚園実習	・受け入れからお返しまでの業務を実施 (終日:6時間)	
14			
15			
16			
17			
18			
19	幼稚園実習	・受け入れからお返しまでの業務を実施 (終日:6時間)	
20			
21			
22			
23			
24			
25	幼稚園実習	・受け入れからお返しまでの業務を実施 (終日:6時間)	
26			
27			
28			
29			
30			
31	幼稚園実習	・受け入れからお返しまでの業務を実施 (終日:6時間)	
32			
33			
34			
35			
36			

37 38 39 40 41 42	幼稚園実習	・受け入れからお返しまでの業務を実施 (終日:6時間)
43 44 45 46 47 48	幼稚園実習	・受け入れからお返しまでの業務を実施 (終日:6時間)
49 50 51 52 53 54	幼稚園実習	・受け入れからお返しまでの業務を実施 (終日:6時間)
55 56 57 58 59 60	幼稚園実習	・受け入れからお返しまでの業務を実施 (終日:6時間)
61 62 63 64 65 66	幼稚園実習	・受け入れからお返しまでの業務を実施 (終日:6時間)
67 68 69 70 71 72	幼稚園実習	・受け入れからお返しまでの業務を実施 (終日:6時間)
73 74 75 76 77 78	幼稚園実習	・受け入れからお返しまでの業務を実施 (終日:6時間)
79 80 81 82 83	幼稚園実習	・受け入れからお返しまでの業務を実施 (終日:5時間)

東京愛犬専門学校 愛犬総合学科(ドッグトレーナーコース)				
授業科目	訓練Ⅴ	必修・選択区分		必修
		授業回数		時間数 83
対象年次	2年	授業形態		講義・実習
担当教員 実務経験○	村瀬英博(村瀬ドッグトレーニングセンター代表、救助犬訓練士協会理事長、国際救助犬連盟(IRO)公認審査員)、鹿野正顕(学術博士、(株)Animal Life Solutions代表取締役社長、スタディ・ドッグスクール代表、日本ペットドッグトレーナーズ協会理事長)			
授業概要	一般飼い主の家庭犬を預かって幼稚園を開催する			
到達目標	家庭犬に必要な社会化教育を実践する			
テキスト・参考書等				
評価方法	出席率80%以上			
授業計画及び学習の内容				
1	座学 (幼稚園の業務について)	・前期の反省・改善点		
2				
3				
4	幼稚園実習 (開始)	・受け入れからお返しまでの業務を実施(終日:6時間)		
5				
6				
7				
8				
9				
10	幼稚園実習 (開始)	・受け入れからお返しまでの業務を実施(終日:6時間)		
11				
12				
13				
14				
15				
16	幼稚園実習 (開始)	・受け入れからお返しまでの業務を実施(終日:6時間)		
17				
18				
19				
20				
21				
22	幼稚園実習 (開始)	・受け入れからお返しまでの業務を実施(終日:6時間)		
23				
24				
25				
26				
27				
28	幼稚園実習 (開始)	・受け入れからお返しまでの業務を実施(終日:6時間)		
29				
30				
31				
32				
33				
34	幼稚園実習 (開始)	・受け入れからお返しまでの業務を実施(終日:6時間)		
35				
36				
37				

38		
39		
40	幼稚園実習 (開始)	・受け入れからお返しまでの業務を実施(終日:6時間)
41		
42		
43		
44		
45		
46	幼稚園実習 (開始)	・受け入れからお返しまでの業務を実施(終日:6時間)
47		
48		
49		
50		
51		
52	幼稚園実習 (開始)	・受け入れからお返しまでの業務を実施(終日:6時間)
53		
54		
55		
56		
57		
58	幼稚園実習 (開始)	・受け入れからお返しまでの業務を実施(終日:6時間)
59		
60		
61		
62		
63		
64	幼稚園実習 (開始)	・受け入れからお返しまでの業務を実施(終日:6時間)
65		
66		
67		
68		
69		
70	幼稚園実習 (開始)	・受け入れからお返しまでの業務を実施(終日:6時間)
71		
72		
73		
74		
75		
76	幼稚園実習 (開始)	・受け入れからお返しまでの業務を実施(終日:6時間)
77		
78		
79		
80		
81		
82	自主学習	
83		

東京愛犬専門学校 愛犬総合学科(ドッグトレーナーコース)					
授業科目	訓練Ⅵ	必修・選択区分		必修	
		授業回数		時間数	83
対象年次	2年	授業形態		課外実習	
担当教員 実務経験○	村瀬英博(村瀬ドッグトレーニングセンター代表、救助犬訓練士協会理事長、国際救助犬連盟(IRO)公認審査員) 鹿野正顕(学術博士、(株)Animal Life Solutions代表取締役社長、スタディ・ドッグスクール代表、日本ペットドッグトレーナーズ協会理事長) 藤井聡(株)オールドッグセンター代表取締役、全犬種訓練学校責任者/公認訓練士試験委員、IGO(国際作業犬試験)審査員、JKC訓練範士)				
授業概要	現場での実習を通して社会で必要となる知識と技術を身に着ける ライセンスを取得するための知識と技術を身に着ける				
到達目標	現場の業務を体験・習得する。ライセンスを取得する				
テキスト・参考書等					
評価方法	出席率80%以上・2年後期ジャパンケネルクラブ公認訓練士補ライセンス				
授業計画及び学習の内容					
1	スタディ・ドッグ・スクール 幼稚園実習 (6h/日:計6日間)	・スタディ・ドッグ・スクール幼稚園スタッフの補助			
2		・スタディ・ドッグ・スクールグループプレッスンスタッフの補助			
3					
4	スタディ・ドッグ・スクール 幼稚園実習 (6h/日:計6日間)	・スタディ・ドッグ・スクール幼稚園スタッフの補助			
5		・スタディ・ドッグ・スクールグループプレッスンスタッフの補助			
6					
7	スタディ・ドッグ・スクール 幼稚園実習 (6h/日:計6日間)	・スタディ・ドッグ・スクール幼稚園スタッフの補助			
8		・スタディ・ドッグ・スクールグループプレッスンスタッフの補助			
9					
10	スタディ・ドッグ・スクール 幼稚園実習 (6h/日:計6日間)	・スタディ・ドッグ・スクール幼稚園スタッフの補助			
11		・スタディ・ドッグ・スクールグループプレッスンスタッフの補助			
12					
13	スタディ・ドッグ・スクール 幼稚園実習 (6h/日:計5日間)	・スタディ・ドッグ・スクール幼稚園スタッフの補助			
14		・スタディ・ドッグ・スクールグループプレッスンスタッフの補助			
15					
16	スタディ・ドッグ・スクール 幼稚園実習 (6h/日:計5日間)	・スタディ・ドッグ・スクール幼稚園スタッフの補助			
17		・スタディ・ドッグ・スクールグループプレッスンスタッフの補助			
18					
19	スタディ・ドッグ・スクール 幼稚園実習 (6h/日:計5日間)	・スタディ・ドッグ・スクール幼稚園スタッフの補助			
20		・スタディ・ドッグ・スクールグループプレッスンスタッフの補助			
21					
22	スタディ・ドッグ・スクール 幼稚園実習 (6h/日:計5日間)	・スタディ・ドッグ・スクール幼稚園スタッフの補助			
23		・スタディ・ドッグ・スクールグループプレッスンスタッフの補助			
24					
25	スタディ・ドッグ・スクール 幼稚園実習 (6h/日:計5日間)	・スタディ・ドッグ・スクール幼稚園スタッフの補助			
26		・スタディ・ドッグ・スクールグループプレッスンスタッフの補助			
27					
28	スタディ・ドッグ・スクール 幼稚園実習 (6h/日:計5日間)	・スタディ・ドッグ・スクール幼稚園スタッフの補助			
29		・スタディ・ドッグ・スクールグループプレッスンスタッフの補助			
30					
31	村瀬ドッグトレーニング センター 研修 (6h/日:計5.5日)	・通常業務の補助			
32		・救助犬の訓練補助			
33					
34	村瀬ドッグトレーニング	・通常業務の補助			

35	センター 研修 (6h/日:計5.5日)	・救助犬の訓練補助
36		
37	村瀬ドッグトレーニング センター 研修 (6h/日:計5.5日)	・通常業務の補助
38		・救助犬の訓練補助
39		
40	村瀬ドッグトレーニング センター 研修 (6h/日:計5.5日)	・通常業務の補助
41		・救助犬の訓練補助
42		
43	村瀬ドッグトレーニング センター 研修 (6h/日:計5.5日)	・通常業務の補助
44		・救助犬の訓練補助
45		
46	村瀬ドッグトレーニング センター 研修 (6h/日:計5.5日)	・通常業務の補助
47		・救助犬の訓練補助
48		
49	村瀬ドッグトレーニング センター 研修 (6h/日:計5.5日)	・通常業務の補助
50		・救助犬の訓練補助
51		
52	村瀬ドッグトレーニング センター 研修 (6h/日:計5.5日)	・通常業務の補助
53		・救助犬の訓練補助
54		
55	村瀬ドッグトレーニング センター 研修 (6h/日:計5.5日)	・通常業務の補助
56		・救助犬の訓練補助
57		
58	村瀬ドッグトレーニング センター 研修 (6h/日:計5.5日)	・通常業務の補助
59		・救助犬の訓練補助
60		
61	村瀬ドッグトレーニング センター 研修 (6h/日:計5.5日)	・通常業務の補助
62		・救助犬の訓練補助
63		
64	ライセンス対策	ジャパンケネルクラブ公認訓練士補ライセンス対策講義
65		
66		
67	ライセンス対策	ジャパンケネルクラブ公認訓練士補ライセンス対策講義
68		
69		
70	ライセンス対策	ジャパンケネルクラブ公認訓練士補ライセンス対策講義
71		
72		
73	ライセンス対策	ジャパンケネルクラブ公認訓練士補ライセンス対策講義
74		
75		
76	ライセンス対策	ジャパンケネルクラブ公認訓練士補ライセンス対策講義
77		
78		
79	ライセンス対策	ジャパンケネルクラブ公認訓練士補ライセンス対策講義
80		
81		
82	自主学習	
83		

東京愛犬専門学校 愛犬総合学科(ドッグトレーナーコース)				
授業科目	動物看護学Ⅰ	必修・選択区分		必修
		授業回数		時間数
対象年次	1年	授業形態		54 講義・実習
担当教員 実務経験○	今瑞穂(愛玩動物看護師・ペット栄養管理士)			
授業概要	基礎動物学、基礎動物看護学を中心に動物に対する理解を深める。			
到達目標	グルーマー、ペットシッターなどペット業界の仕事に携わる際に必要な知識とスキルを身に着ける。			
テキスト・参考書等	健康管理学教本・看護技術学教本			
評価方法	出席率80%以上・試験(60点以上)			
授業計画及び学習の内容				
1	ガイダンス/身体検査①	動物病院・ペットショップの紹介/問診・体の部位の名前		
2	ガイダンス/身体検査①	動物病院・ペットショップの紹介/問診・体の部位の名前		
3	ガイダンス/身体検査①	動物病院・ペットショップの紹介/問診・体の部位の名前		
4	身体検査②	体温測定・検査他		
5	身体検査②	体温測定・検査他		
6	身体検査②	体温測定・検査他		
7	身体検査③	問診表の記入・バイタルサイン等		
8	身体検査③	問診表の記入・バイタルサイン等		
9	身体検査③	問診表の記入・バイタルサイン等		
10	消毒薬①	消毒の必要性・代表的消毒薬等		
11	消毒薬①	消毒の必要性・代表的消毒薬等		
12	消毒薬①	消毒の必要性・代表的消毒薬等		
13	消毒薬②	消毒薬の希釈法・計算		
14	消毒薬②	消毒薬の希釈法・計算		
15	消毒薬②	消毒薬の希釈法・計算		
16	院内感染等/様々な感染症	院内感染疾患の紹介と予防法/狂犬病等		
17	院内感染等/様々な感染症	院内感染疾患の紹介と予防法/狂犬病等		
18	院内感染等/様々な感染症	院内感染疾患の紹介と予防法/狂犬病等		
19	保定方法	保定道具・点眼・経口投与等		
20	保定方法	保定道具・点眼・経口投与等		
21	保定方法	保定道具・点眼・経口投与等		
22	応急処置	家庭内・ペットショップでの対処法		
23	応急処置	家庭内・ペットショップでの対処法		
24	応急処置	家庭内・ペットショップでの対処法		
25	止血・包帯法	心肺蘇生法・止血・包帯法		
26	止血・包帯法	心肺蘇生法・止血・包帯法		
27	止血・包帯法	心肺蘇生法・止血・包帯法		
28	日常の健康管理①	外部寄生虫の紹介と対策		
29	日常の健康管理①	外部寄生虫の紹介と対策		
30	日常の健康管理①	外部寄生虫の紹介と対策		
31	日常の健康管理②	ワクチンとそのプログラム・消化管内寄生虫症		
32	日常の健康管理②	ワクチンとそのプログラム・消化管内寄生虫症		
33	日常の健康管理②	ワクチンとそのプログラム・消化管内寄生虫症		
34	検査器具使用法	顕微鏡・タンパク比重計・遠心分離機の使用法		
35	検査器具使用法	顕微鏡・タンパク比重計・遠心分離機の使用法		

36	検査器具使用法	顕微鏡・タンパク比重計・遠心分離機の使用法
37	細胞診の基礎	細胞診の基礎知識
38	細胞診の基礎	細胞診の基礎知識
39	細胞診の基礎	細胞診の基礎知識
40	糞便検査①	消化器解剖・生理と検査法等
41	糞便検査①	消化器解剖・生理と検査法等
42	糞便検査①	消化器解剖・生理と検査法等
43	糞便検査②	消化器吸収検査・浮遊法
44	糞便検査②	消化器吸収検査・浮遊法
45	糞便検査②	消化器吸収検査・浮遊法
46	避妊と去勢	避妊と去勢の方法・遺伝性疾患等
47	避妊と去勢	避妊と去勢の方法・遺伝性疾患等
48	避妊と去勢	避妊と去勢の方法・遺伝性疾患等
49	栄養学①	栄養学の基本的な知識
50	栄養学①	栄養学の基本的な知識
51	栄養学①	栄養学の基本的な知識
52	栄養学②	食事を与える際の注意
53	栄養学②	食事を与える際の注意
54	栄養学②	食事を与える際の注意

東京愛犬専門学校 愛犬総合学科(ドッグトレーナーコース)					
授業科目	動物看護学Ⅱ	必修・選択区分	必修		
		授業回数	57	時間数	57
対象年次	2年	授業形態	講義・実習		
担当教員 実務経験○	佐々木ルリエ(獣医師)、今瑞穂(愛玩動物看護師・ペット栄養管理士)				
授業概要	基礎動物学、基礎動物看護学を中心に動物に対する理解を深める。				
到達目標	グルーマー、ペットシッターなどペット業界の仕事に携わる際に必要な知識とスキルを身に着ける。				
テキスト・参考書等	健康管理学教本・看護技術学教本				
評価方法	出席率80%以上・試験(60点以上)				
授業計画及び学習の内容					
1	心電図検査・心臓病	心臓の解剖・疾患・器具の取り扱い・保定			
2	心電図検査・心臓病	心臓の解剖・疾患・器具の取り扱い・保定			
3	心電図検査・心臓病	心臓の解剖・疾患・器具の取り扱い・保定			
4	調剤法①	薬の基礎知識・剤形・薬用量計算			
5	調剤法①	薬の基礎知識・剤形・薬用量計算			
6	調剤法①	薬の基礎知識・剤形・薬用量計算			
7	調剤法②	調剤・薬の飲ませ方			
8	調剤法②	調剤・薬の飲ませ方			
9	調剤法②	調剤・薬の飲ませ方			
10	血液検査①	血液学の基礎・採血法・血液の処理法			
11	血液検査①	血液学の基礎・採血法・血液の処理法			
12	血液検査①	血液学の基礎・採血法・血液の処理法			
13	血液検査②	注射デモ・採血デモ・Ht・TP・血液塗沫			
14	血液検査②	注射デモ・採血デモ・Ht・TP・血液塗沫			
15	血液検査②	注射デモ・採血デモ・Ht・TP・血液塗沫			
16	皮膚科学	基本的皮膚疾患と予防法・皮膚検査			
17	皮膚科学	基本的皮膚疾患と予防法・皮膚検査			
18	皮膚科学	基本的皮膚疾患と予防法・皮膚検査			
19	皮膚検査	保定法・投薬法デモ・脱水の評価・皮膚検査			
20	皮膚検査	保定法・投薬法デモ・脱水の評価・皮膚検査			
21	皮膚検査	保定法・投薬法デモ・脱水の評価・皮膚検査			
22	尿検査①	泌尿器疾患・尿検査の意義・採尿法			
23	尿検査①	泌尿器疾患・尿検査の意義・採尿法			
24	尿検査①	泌尿器疾患・尿検査の意義・採尿法			
25	尿検査②	検査方法			
26	尿検査②	検査方法			
27	尿検査②	検査方法			
28	X線検査	X線検査・防御・保定・X線検査器具取り扱い、現像方法等			
29	X線検査	X線検査・防御・保定・X線検査器具取り扱い、現像方法等			
30	X線検査	X線検査・防御・保定・X線検査器具取り扱い、現像方法等			
31	X線検査	X線読影、特殊撮影など			
32	X線検査	X線読影、特殊撮影など			
33	高度医療	CT・MRI検査紹介			
34	注射法	注射器具等の紹介と扱い・薬用量計算・各種投薬法			
35	注射法	注射器具等の紹介と扱い・薬用量計算・各種投薬法			

36	注射法	注射器具等の紹介と扱い・薬用量計算・各種投薬法
37	超音波検査	器具の取り扱い・保定
38	超音波検査	器具の取り扱い・保定
39	超音波検査	器具の取り扱い・保定
40	輸液法 ①	皮下輸液・静脈内輸液
41	輸液法 ①	皮下輸液・静脈内輸液
42	輸液法 ①	皮下輸液・静脈内輸液
43	輸液法 ②	輸液器具の取り扱い・注意点
44	輸液法 ②	輸液器具の取り扱い・注意点
45	輸液法 ②	輸液器具の取り扱い・注意点
46	歯科学	歯と口腔の解剖・予防歯科・歯磨き法・歯石除去
47	歯科学	歯と口腔の解剖・予防歯科・歯磨き法・歯石除去
48	歯科学	歯と口腔の解剖・予防歯科・歯磨き法・歯石除去
49	麻酔学	麻酔の種類・準備・モニター方法・麻酔器具取り扱い・挿管法など
50	麻酔学	麻酔の種類・準備・モニター方法・麻酔器具取り扱い・挿管法など
51	麻酔学	麻酔の種類・準備・モニター方法・麻酔器具取り扱い・挿管法など
52	手術室看護	手術準備・手指の消毒法・手術器具・術後ケア・術衣装着法・オペ器具の滅菌方法等
53	手術室看護	手術準備・手指の消毒法・手術器具・術後ケア・術衣装着法・オペ器具の滅菌方法等
54	手術室看護	手術準備・手指の消毒法・手術器具・術後ケア・術衣装着法・オペ器具の滅菌方法等
55	模擬試験	総まとめ
56	模擬試験	総まとめ
57	模擬試験	総まとめ

東京愛犬専門学校 愛犬総合学科(ドッグトレーナーコース)

授業科目	基礎衛生看護学Ⅰ	必修・選択区分	必修	
		授業回数	時間数	36
対象年次	1年	授業形態	講義	
担当教員 実務経験○	大津政義(獣医師)			
授業概要	基礎動物学、基礎動物看護学を中心に動物に対する理解を深める。			
到達目標	グルーマーとして必要な基礎衛生看護学の知識を身に着ける。			
テキスト・参考書等	新・犬と猫の体のしくみ			
評価方法	出席率80%以上・試験(60点以上)			
授業計画及び学習の内容				
1	衛生学概論	歴史と構成		
2	衛生学概論	歴史と構成		
3	衛生学概論	歴史と構成		
4	骨学①	骨の構成		
5	骨学①	骨の構成		
6	骨学①	骨の構成		
7	骨学②	骨格・関節		
8	骨学②	骨格・関節		
9	骨学②	骨格・関節		
10	生理学基礎①	細胞		
11	生理学基礎①	細胞		
12	生理学基礎①	細胞		
13	生理学基礎②	体液・血液		
14	生理学基礎②	体液・血液		
15	生理学基礎②	体液・血液		
16	免疫①	解剖・アレルギー		
17	免疫①	解剖・アレルギー		
18	免疫①	解剖・アレルギー		
19	免疫②	ワクチン		
20	免疫②	ワクチン		
21	免疫②	ワクチン		
22	内分泌①	解剖		
23	内分泌①	解剖		
24	内分泌①	解剖		
25	内分泌②	生理		
26	内分泌②	生理		
27	内分泌②	生理		
28	復習	総復習		
29	復習	総復習		
30	復習	総復習		
31	神経①	解剖		
32	神経①	解剖		
33	神経①	解剖		
34	神経②	生理		
35	神経②	生理		
36	神経②	生理		

東京愛犬専門学校 愛犬総合学科(ドッグトレーナーコース)

授業科目	基礎衛生看護学Ⅱ	必修・選択区分	必修	
対象年次		2年	授業回数	時間数
担当教員 実務経験○	大津政義(獣医師)			
授業概要	基礎動物学、基礎動物看護学を中心に動物に対する理解を深める。			
到達目標	グルーマーとして必要な基礎衛生看護学の知識を身に着ける。			
テキスト・参考書等	新・犬と猫の体のしくみ			
評価方法	出席率80%以上・試験(60点以上)			

授業計画及び学習の内容		
1	消化器①	概要・肝臓①解剖
2	消化器①	概要・肝臓①解剖
3	消化器①	概要・肝臓①解剖
4	消化器②	肝臓②生理
5	消化器②	肝臓②生理
6	消化器②	肝臓②生理
7	消化器③	膵臓
8	消化器③	膵臓
9	消化器③	膵臓
10	消化器④	消化管
11	消化器④	消化管
12	消化器④	消化管
13	消化器⑤	消化管ホルモン
14	消化器⑤	消化管ホルモン
15	消化器⑤	消化管ホルモン
16	代謝①	膜消化
17	代謝①	膜消化
18	代謝①	膜消化
19	代謝②	各論ATP
20	代謝②	各論ATP
21	代謝②	各論ATP
22	腎臓①	解剖
23	腎臓①	解剖
24	腎臓①	解剖
25	腎臓②	生理
26	腎臓②	生理
27	腎臓②	生理
28	復習	復習
29	復習	復習
30	復習	復習
31	繁殖学・腸内細菌①	腸内細菌①
32	繁殖学・腸内細菌①	腸内細菌①
33	繁殖学・腸内細菌①	腸内細菌①
34	腸内細菌②	
35	腸内細菌②	
36	腸内細菌②	

東京愛犬専門学校 愛犬総合学科(ドッグトレーナーコース)				
授業科目	グルーミング理論 I	必修・選択区分	必修	
		授業回数	時間数	35
対象年次	1年	授業形態	講義	
担当教員 実務教員○	金子幸一(JKC全犬種審査員・JKCトリマー教士)・杉浦市郎(JKCプロトリマー・プロハンドラー、セター・クリーク犬舎代表)			
授業概要	犬種標準を理解し、基本的なグルーミング技法や各犬種のトリミング方法を学び、実習授業で実践できるようにする。			
到達目標	グルーミングの基礎、プードル種・テリア種について学び、グルーミング実習を実施するための知識とスキルを身に着ける。			
テキスト・参考書等	最新ドッググルーミングマニュアル(公認トリマー教本)・JKC全犬種標準書			
評価方法	出席率80%以上・プードル・テリアは試験有(60点以上)			
授業計画及び学習の内容				
1	プードル①			
2	プードル②			
3	プードル③			
4	プードル④			
5	プードル⑤			
6	プードル⑥			
7	プードル⑦			
8	プードル⑧			
9	プードル⑨			
10	プードル⑩			
11	プードル⑪			
12	プードル⑫			
13	プードル⑬			
14	プードル⑭			
15	プードル⑮			
16	試験	プードル試験		
17	テリア①			
18	テリア②			
19	テリア③			
20	テリア④			
21	テリア⑤			
22	テリア⑥			
23	テリア⑦			
24	テリア⑧			
25	テリア⑨			
26	テリア⑩			
27	テリア⑪			
28	テリア⑫			
29	テリア⑬			
30	テリア⑭			
31	テリア⑮			
32	試験	テリア試験		
33	特別講義①			
34	特別講義②			
35	特別講義③			

東京愛犬専門学校 愛犬総合学科(ドッグトレーナーコース)				
授業科目	グルーミング理論Ⅱ	必修・選択区分		必修
		授業回数		時間数
対象年次	1年	授業形態		35 講義
担当教員 実務経験○	田下政雄(JKCハンドラー師範、JKC/AKU/FCI全犬種審査員)・利根川紘子・齋藤夏帆美・中村知里(JKCTリマーA級)			
授業概要	犬種標準を理解し、基本的なグルーミング技法や各犬種のトリミング方法を学び、実習授業で実践できるようにする。			
到達目標	グルーミングの基礎、マルチーズ種、シーズー、ポメラニアン、ヨークー、シェルティ、Mシュナについて学び、グルーミング実習を実施するための知識とスキルを身に着ける。			
テキスト・参考書等	最新ドッググルーミングマニュアル(公認トリマー教本)・JKC全犬種標準書			
評価方法	出席率80%・試験有(マルチ・シーズ・ヨークー:60点以上)			
②				
1	マルチーズ①			
2	マルチーズ②			
3	マルチーズ③			
4	マルチーズ④			
5	マルチーズ⑤			
6	マルチーズ⑥			
7	シーズー①			
8	シーズー②			
9	シーズー③			
10	シーズー④			
11	シーズー⑤			
12	シーズー⑥			
13	ヨークー①			
14	ヨークー②			
15	ヨークー③			
16	ヨークー④			
17	ヨークー⑤			
18	ヨークー⑥			
19	試験	マルチーズ・シーズー・ヨークー 試験		
20	コッカー①			
21	コッカー②			
22	コッカー③			
23	コッカー④			
24	コッカー⑤			
25	コッカー⑥			
26	コッカー⑦			
27	コッカー⑧			
28	コッカー⑨			
29	コッカー⑩			
30	コッカー⑪			
31	コッカー⑫			
32	コッカー⑬			
33	コッカー⑭			
34	コッカー⑮			
35	試験	コッカー試験		

東京愛犬専門学校 愛犬総合学科(ドッグトレーナーコース)				
授業科目	グルーミング理論Ⅲ	必修・選択区分		必修
		授業回数		時間数
対象年次	1年	授業形態		35 講義
担当教員 実務教員○	植村豊(JKC全犬種審査員、JKCTリマー師範・試験委員、JKCハンドラー教士・試験委員、JKC訓練教士)・渡辺まゆみ(JKCTリマー教士・JKC全犬種群審査員・JKC訓練教士)・若林智子(JKCTリマーA級、JKCアニマル衛生士)・芝田早苗(JKCTリマーA級、JKCハンドラーA級、JKC単犬種審査員、JKCアニマル衛生士・ペット栄養管理士)・飯田美雪(JKCTリマー教士、JKCハンドラーA級)・担任			
授業概要	犬種標準を理解し、基本的なグルーミング技法や各犬種のトリミング方法を学び、実習授業で実践できるようにする。			
到達目標	グルーミングの基礎、コッカースパニエル種、シーズー種について学び、グルーミング実習を実施するための知識とスキルを身に着ける。			
テキスト・参考書等	最新ドッググルーミングマニュアル(公認トリマー教本)、コンパニオン・アニマルの新健康管理学、コンパニオン・アニマルの看護技術学、コンパニオン・アニマルの疾患学入門(Interzoo)、ドッググルーミングブック(緑書房)、プードル・トリミングの教科書(Eduward press)、JKC全犬種標準書			
評価方法	出席率80%以上・ポメ・シェルティ・グルーミング試験(60点以上)			
授業計画及び学習の内容				
1	ポメラニアン			
2	ポメラニアン			
3	ポメラニアン			
4	ポメラニアン			
5	ポメラニアン			
6	ポメラニアン			
7	シェルティ			
8	シェルティ			
9	シェルティ			
10	シェルティ			
11	シェルティ			
12	シェルティ			
13	グルーミング			
14	グルーミング			
15	グルーミング			
16	グルーミング			
17	グルーミング			
18	グルーミング			
19	テスト	ポメラニアン・シェルティ・グルーミング		
20	Mシュナ			
21	Mシュナ			
22	Mシュナ			
23	Mシュナ			
24	Mシュナ			
25	Mシュナ			
26	実習心得①			
27	実習心得②			
28	実習心得③			
29	実習心得④			
30	実習心得⑤			
31	実習心得⑥			
32	特別講義①			
33	特別講義②			
34	特別講義③			
35	特別講義④			

東京愛犬専門学校 愛犬総合学科(ドッグトレーナーコース)				
授業科目	グルーミング理論Ⅳ	必修・選択区分		必修
		授業回数		時間数
対象年次	2年	授業形態		15 講義
担当教員 実務教員○	飯田美雪(JKCTリマー教士、JKCハンドラーA級)			
到達目標	グルーミングの基礎、コッカースパニエル種、シーズー種について学び、グルーミング実習を実施するための知識とスキルを身に着ける。			
テキスト・参考書等	最新ドッググルーミングマニュアル(公認トリマー教本)・JKC全犬種標準書			
評価方法	出席率80%以上			
授業計画及び学習の内容				
1	テリア(ウェスティ①)			
2	テリア(ウェスティ①)			
3	テリア(ウェスティ①)			
4	テリア(ウェスティ②)			
5	テリア(ウェスティ②)			
6	テリア(ウェスティ②)			
7	テリア(ウェルシュ①)			
8	テリア(ウェルシュ①)			
9	テリア(ウェルシュ①)			
10	テリア(ウェルシュ②)			
11	テリア(ウェルシュ②)			
12	テリア(ウェルシュ③)			
13	テリア(ケリーブルー)			
14	テリア(ケリーブルー)			
15	テリア(ケリーブルー)			

東京愛犬専門学校 愛犬総合学科(ドッグトレーナーコース)				
授業科目	グルーミング理論Ⅴ	必修・選択区分		必修
		授業回数	15	時間数
対象年次	2年	授業形態		講義
担当教員 実務教員○	金子幸一(JKC全犬種審査員、JKCトリマー教士)			
授業概要	犬種標準を理解し、基本的なグルーミング技法や各犬種のトリミング方法を学び、実習授業で実践できるようにする。			
到達目標	グルーミングの基礎、コッカースパニエル種、シーズー種について学び、グルーミング実習を実施するための知識とスキルを身に着ける。			
テキスト・参考書等	最新ドッググルーミングマニュアル(公認トリマー教本)・JKC全犬種標準書			
評価方法	出席率80%以上			
授業計画及び学習の内容				
1	プードル①			
2	プードル①			
3	プードル①			
4	プードル①			
5	プードル①			
6	プードル①			
7	プードル②			
8	プードル②			
9	プードル②			
10	プードル③			
11	プードル③			
12	プードル③			
13	プードル③			
14	プードル③			
15	プードル③			

東京愛犬専門学校 愛犬総合学科(ドッグトレーナーコース)				
授業科目	グルーミング理論Ⅵ	必修・選択区分	必修	
		授業回数	時間数	15
対象年次	2年	授業形態	講義	
担当教員 実務教員○	飯田美雪(JKCトリマー教士、JKCハンドラーA級)、田下政雄(JKCハンドラー師範・試験委員、JKC/AKU/FCI全犬種審査員)			
授業概要	犬種標準を理解し、基本的なグルーミング技法や各犬種のトリミング方法を学び、実習授業で実践できるようにする。			
到達目標	グルーミングの基礎、コッカースパニエル種、シーズー種について学び、グルーミング実習を実施するための知識とスキルを身に着ける。			
テキスト・参考書等	最新ドッググルーミングマニュアル(公認トリマー教本)			
評価方法	出席率80%以上			
授業計画及び学習の内容				
1	テリア(ノーフォーク)①			
2	テリア(ノーフォーク)②			
3	テリア(ノーフォーク)③			
4	ベドリントン①			
5	ベドリントン①			
6	ベドリントン①			
7	ベドリントン②			
8	ベドリントン②			
9	ベドリントン②			
10	コッカ①			
11	コッカ②			
12	コッカ③			
13	コッカ④			
14	コッカ⑤			
15	コッカ⑥			

東京愛犬専門学校 愛犬総合学科(ドッグトレーナーコース)				
授業科目	グルーミング実習 I	必修・選択区分	必修	
		授業回数	時間数	104
対象年次	1年	授業形態	実習	
担当教員 実務教員○	植村豊(JKC全犬種審査員、JKCTリマー師範・試験委員、JKCハンドラー教士・試験委員、JKC訓練教士)・利根川紘子・齋藤夏帆美・若林智子(JKCTリマーA級、JKCアニマル衛生士)、中村知里(JKCTリマーA級)、芝田早苗(JKCTリマーA級、JKCハンドラーA級、JKC単犬種審査員、JKCアニマル衛生士・ペット栄養管理士)・金子幸一(JKC全犬種審査員・JKCTリマー教士)・杉浦市郎(JKCプロリマー・プロハンドラー、セター・クリーク犬舎代表)・田下政雄(JKCハンドラー師範・試験委員、JKC/AKU/FCI全犬種審査員)・飯田美雪(JKCTリマー教士、JKCハンドラーA級)・関口和実(JKCTリマーA級、JKCアニマル衛生士)・秋葉雅心・佐藤みずき・佐野萌衣			
授業概要	各犬種に応じたトリミング方法を実践する。(長毛犬種(マルチーズ、シーズー、ポメラニアン、ヨークシャテリア、シェットランドシープドッグ)、プードル、テリア種(エアデールテリア・ベドリントン・テリア)			
到達目標	ウィッグでのトリミング、様々な犬種のトリミング、JKCドッグショーの鑑賞、JKCTリマーライセンス試験に備えて必要な知識、スキルを身に着ける。			
テキスト・参考書等	最新ドッググルーミングマニュアル(公認トリマー教本)			
評価方法	出席率80%以上			
科目名	時間数	授業計画及び学習の内容		
I	1-6	スタンダード I		
	7-104	グルーミング	長毛犬種(マルチーズ、シーズー、ポメラニアン、ヨークシャテリア、シェットランドシープドッグ)、プードル、テリア種(エアデールテリア・ベドリントン・テリア)	

東京愛犬専門学校 愛犬総合学科(ドッグトレーナーコース)

授業科目	グルーミング実習Ⅱ	必修・選択区分	必修	
		授業回数	時間数	104
対象年次	1年	授業形態	実習	
担当教員 実務教員○	植村豊(JKC全犬種審査員、JKCTリマー師範・試験委員、JKCハンドラー教士・試験委員、JKC訓練教士)・利根川紘子・齋藤夏帆美・若林智子(JKCTリマーA級、JKCアニマル衛生士)、中村知里(JKCTリマーA級)、芝田早苗(JKCTリマーA級、JKCハンドラーA級、JKC単犬種審査員、JKCアニマル衛生士・ペット栄養管理士)・金子幸一(JKC全犬種審査員・JKCTリマー教士)・杉浦市郎(JKCプロリマー・プロハンドラー、セター・クリーク犬舎代表)・田下政雄(JKCハンドラー師範・試験委員、JKC/AKU/FCI全犬種審査員)・飯田美雪(JKCTリマー教士、JKCハンドラーA級)・関口和実(JKCTリマーA級、JKCアニマル衛生士)・秋葉雅心・佐藤みずき・佐野萌衣			
授業概要	各犬種に応じたトリミング方法を実践する。(長毛犬種(マルチーズ、シーズー、ポメラニアン、ヨークシャテリア、シェットランドシープドッグ)、プードル、テリア種(エアデールテリア・ベドリントン・テリア))			
到達目標	ウィッグでのトリミング、様々な犬種のトリミング、JKCドッグショーの鑑賞、JKCTリマーライセンス試験に備えて必要な知識、スキルを身に着ける。			
テキスト・参考書等	最新ドッググルーミングマニュアル(公認トリマー教本)			
評価方法	出席率80%以上・ウィッグ試験(60点以上)			
科目名	時間数	授業計画及び学習の内容		
Ⅱ	1-45	トレーニング(ウィッグ)		
	46-48	トレーニング(テスト)		
	49-104	グルーミング	長毛犬種(マルチーズ、シーズー、ポメラニアン、ヨークシャテリア、シェットランドシープドッグ)、プードル、テリア種(エアデールテリア・ベドリントン・テリア)	

東京愛犬専門学校 愛犬総合学科(ドッグトレーナーコース)				
授業科目	グルーミング実習Ⅲ	必修・選択区分	必修	
		授業回数	時間数	104
対象年次	1年	授業形態	実習	
担当教員 実務教員○	植村豊(JKC全犬種審査員、JKCTリマー師範・試験委員、JKCハンドラー教士・試験委員、JKC訓練教士)・利根川紘子・齋藤夏帆美・若林智子(JKCTリマーA級、JKCアニマル衛生士)、中村知里(JKCTリマーA級)、芝田早苗(JKCTリマーA級、JKCハンドラーA級、JKC単犬種審査員、JKCアニマル衛生士・ペット栄養管理士)・金子幸一(JKC全犬種審査員・JKCTリマー教士)・杉浦市郎(JKCプロリマー・プロハンドラー、セター・クレーク犬舎代表)・田下政雄(JKCハンドラー師範・試験委員、JKC/AKU/FCI全犬種審査員)・飯田美雪(JKCTリマー教士、JKCハンドラーA級)・関口和実(JKCTリマーA級、JKCアニマル衛生士)・秋葉雅心・佐藤みずき・佐野萌衣			
授業概要	各犬種に応じたトリミング方法を実践する。			
到達目標	ウィッグでのトリミング、様々な犬種のトリミング、JKCドッグショーの鑑賞、JKCTリマーライセンス試験に備えて必要な知識、スキルを身に着ける。			
テキスト・参考書等				
評価方法	出席率80%以上・C級ライセンス取得(70点以上合格)			
科目名	時間数	授業計画及び学習の内容		
Ⅲ	1-104	グルーミング実習Ⅲ	長毛犬種(マルチーズ、シーズー、ポメラニアン、ヨークシャテリア、シェットランドシープドッグ)、プードル、テリア種(エアデールテリア・ベドリントン・テリア)	

東京愛犬専門学校 愛犬総合学科(ドッグトレーナーコース)

授業科目	グルーミング実習Ⅳ	必修・選択区分	必修	
		授業回数	時間数	119
対象年次	2年	授業形態	実習	
担当教員 実務教員○	植村豊(JKC全犬種審査員、JKCTリマー師範・試験委員、JKCハンドラー教士・試験委員、JKC訓練教士)・利根川紘子・齋藤夏帆美・若林智子(JKCTリマーA級、JKCアニマル衛生士)、中村知里(JKCTリマーA級)、芝田早苗(JKCTリマーA級、JKCハンドラーA級、JKC単犬種審査員、JKCアニマル衛生士・ペット栄養管理士)・金子幸一(JKC全犬種審査員・JKCTリマー教士)・杉浦市郎(JKCプロリマー・プロハンドラー、セター・クリーク犬舎代表)・田下政雄(JKCハンドラー師範・試験委員、JKC/AKU/FCI全犬種審査員)・飯田美雪(JKCTリマー教士、JKCハンドラーA級)・関口和実(JKCTリマーA級、JKCアニマル衛生士)・秋葉雅心・佐藤みずき・佐野萌衣			
授業概要	各犬種に応じたトリミング方法を実践する。			
到達目標	ウィッグでのトリミング、様々な犬種のトリミング、JKCドッグショーの鑑賞、JKCTリマーライセンス試験に備えて必要な知識、スキルを身に着ける。			
テキスト・参考書等				
評価方法	出席率80%以上			
科目名	時間数	授業計画及び学習の内容		
Ⅳ	1-119	グルーミング実習Ⅳ	長毛犬種(マルチーズ、シーズー、ポメラニアン、ヨークシャテリア、シェットランドシープドッグ)、プードル、テリア種(エアデールテリア・ベドリントン・テリア)	

東京愛犬専門学校 愛犬総合学科(ドッグトレーナーコース)				
授業科目	グルーミング実習Ⅴ	必修・選択区分	必修	
		授業回数	時間数	119
対象年次	2年	授業形態	実習	
担当教員 実務教員○	植村豊(JKC全犬種審査員、JKCTリマー師範・試験委員、JKCハンドラー教士・試験委員、JKC訓練教士)・利根川紘子・齋藤夏帆美・若林智子(JKCTリマーA級、JKCアニマル衛生士)、中村知里(JKCTリマーA級)、芝田早苗(JKCTリマーA級、JKCハンドラーA級、JKC単犬種審査員、JKCアニマル衛生士・ペット栄養管理士)・金子幸一(JKC全犬種審査員・JKCTリマー教士)・杉浦市郎(JKCプロリマー・プロハンドラー、セター・クリーク犬舎代表)・田下政雄(JKCハンドラー師範・試験委員、JKC/AKU/FCI全犬種審査員)・飯田美雪(JKCTリマー教士、JKCハンドラーA級)・関口和実(JKCTリマーA級、JKCアニマル衛生士)・秋葉雅心・佐藤みずき・佐野萌衣			
授業概要	各犬種に応じたトリミング方法を実践する。			
到達目標	ウィッグでのトリミング、様々な犬種のトリミング、JKCドッグショーの鑑賞、JKCTリマーライセンス試験に備えて必要な知識、スキルを身に着ける。			
テキスト・参考書等				
評価方法	出席率80%以上・B級ライセンス取得			
科目名	時間数	授業計画及び学習の内容		
Ⅴ	1-6	スタンダードⅡ(講義)		
	7-28	トレーニング(ウィッグ)		
	29-119	グルーミング実習Ⅴ	長毛犬種(マルチーズ、シーズー、ポメラニアン、ヨークシャテリア、シェットランドシープドッグ)、プードル、テリア種(エアデールテリア・ベドリントン・テリア)	

東京愛犬専門学校 愛犬総合学科(ドッグトレーナーコース)				
授業科目	グルーミング実習VI	必修・選択区分	必修	
		授業回数	時間数	119
対象年次	2年	授業形態	実習	
担当教員 実務教員○	植村豊(JKC全犬種審査員、JKCTリマー師範・試験委員、JKCハンドラー教士・試験委員、JKC訓練教士)・利根川紘子・齋藤夏帆美・若林智子(JKCTリマーA級、JKCアニマル衛生士)、中村知里(JKCTリマーA級)、芝田早苗(JKCTリマーA級、JKCハンドラーA級、JKC単犬種審査員、JKCアニマル衛生士・ペット栄養管理士)・金子幸一(JKC全犬種審査員・JKCTリマー教士)・杉浦市郎(JKCプロリマー・プロハンドラー、セター・クリーク犬舎代表)・田下政雄(JKCハンドラー師範・試験委員、JKC/AKU/FCI全犬種審査員)・飯田美雪(JKCTリマー教士、JKCハンドラーA級)・関口和実(JKCTリマーA級、JKCアニマル衛生士)・秋葉雅心・佐藤みずき・佐野萌衣			
授業概要	各犬種に応じたトリミング方法を実践する。			
到達目標	ウィッグでのトリミング、様々な犬種のトリミング、JKCドッグショーの鑑賞、JKCTリマーライセンス試験に備えて必要な知識、スキルを身に着ける。			
テキスト・参考書等				
評価方法	出席率80%以上			
科目名	時間数	授業計画及び学習の内容		
VI	1-119	グルーミング実習VI	長毛犬種(マルチーズ、シーズー、ポメラニアン、ヨークシャテリア、シェットランドシープドッグ)、プードル、テリア種(エアデールテリア・ベドリントン・テリア)	

東京愛犬専門学校 愛犬総合学科(ドッグトレーナーコース)			
授業科目	ドッグマッサージ	必修・選択区分	必修
		授業回数	時間数
対象年次	1年	授業形態	15 講義・実習
担当教員 実務教員○	芝田早苗(JKCトリマーA級、JKCハンドラーA級、JKC単犬種審査員、JKCアニマル衛生士・ペット栄養管理士)		
授業概要	犬を癒し、健康に役立つマッサージの学習		
到達目標	犬をマッサージするテクニックを習得する		
テキスト・参考書等	プリント配布		
評価方法	出席率80%以上		
授業計画及び学習の内容			
1	ドッグマッサージ①	ドッグマッサージの定義と利点・マッサージのテクニック・頭部のマッサージ	
2	ドッグマッサージ①	ドッグマッサージの定義と利点・マッサージのテクニック・頭部のマッサージ	
3	ドッグマッサージ①	ドッグマッサージの定義と利点・マッサージのテクニック・頭部のマッサージ	
4	ドッグマッサージ②	マッサージの反応・アロマセラピー・前駆のマッサージ	
5	ドッグマッサージ②	マッサージの反応・アロマセラピー・前駆のマッサージ	
6	ドッグマッサージ②	マッサージの反応・アロマセラピー・前駆のマッサージ	
7	ドッグマッサージ③	ツボと経絡について・中駆のマッサージ・ストレッチ	
8	ドッグマッサージ③	ツボと経絡について・中駆のマッサージ・ストレッチ	
9	ドッグマッサージ③	ツボと経絡について・中駆のマッサージ・ストレッチ	
10	ドッグマッサージ④	カルテ作成方法・アイシングと温熱療法・後駆のマッサージ・これからのマッサージ	
11	ドッグマッサージ④	カルテ作成方法・アイシングと温熱療法・後駆のマッサージ・これからのマッサージ	
12	ドッグマッサージ④	カルテ作成方法・アイシングと温熱療法・後駆のマッサージ・これからのマッサージ	
13	ドッグマッサージ⑤	ツボとマッサージの復習と実習	
14	ドッグマッサージ⑤	ツボとマッサージの復習と実習	
15	ドッグマッサージ⑤	ツボとマッサージの復習と実習	

東京愛犬専門学校 愛犬総合学科(ドッグトレーナーコース)				
授業科目	ドッグウェア	必修・選択区分		必修
		授業回数	時間数	27
対象年次	1年	授業形態	講義・実習	
担当教員	中村知里(JKCTリマーA級)、関口和実(JKCTリマーA級、JKGアニマル衛生士)			
授業概要	ドッグウェアの制作			
到達目標	時間内に丁寧に作品を完成させる			
テキスト・参考書等				
評価方法	出席率80%以上・作品の提出			
授業計画及び学習の内容				
1	ペット服について	必要性についての講義		
2	ペット服について	必要性についての講義		
3	リボン作り	リボン作成		
4	犬のおもちゃ作り	縫い方の練習		
5	犬のおもちゃ作り	縫い方の練習		
6	犬のおもちゃ作り	縫い方の練習		
7	犬のTシャツ作り①	型紙を作り、布にまち針で留める。		
8	犬のTシャツ作り②	布の裁断		
9	犬のTシャツ作り③	布の裁断		
10	犬のTシャツ作り④	チャコペーパーを使い、縫いしろラインをつける		
11	犬のTシャツ作り⑤	チャコペーパーを使い、縫いしろラインをつける		
12	犬のTシャツ作り⑥	背身頃を腹身頃を縫い合わせる		
13	犬のTシャツ作り⑦	背身頃を腹身頃を縫い合わせる		
14	犬のTシャツ作り⑧	袖を縫う		
15	犬のTシャツ作り⑨	衿ぐり、裾ぐり、袖ぐりを縫う		
16	犬のTシャツ作り⑩	縫い合わせた布にアイロンをあてる		
17	犬のTシャツ作り⑪	袖ぐり(右)を縫い合わせる		
18	犬のTシャツ作り⑫	袖ぐり(右)を縫い合わせる		
19	犬のTシャツ作り⑬	袖ぐり(左)を縫い合わせる		
20	犬のTシャツ作り⑭	袖ぐり(左)を縫い合わせる		
21	犬のTシャツ作り⑮	衿ぐりを縫い合わせる		
22	犬のTシャツ作り⑯	衿ぐりを縫い合わせる		
23	犬のTシャツ作り⑰	裾ぐりを縫い合わせる		
24	犬のTシャツ作り⑱	裾ぐりを縫い合わせる		
25	犬のTシャツ作り⑲	身頃と袖を縫い合わせる		
26	犬のTシャツ作り⑳	身頃と袖を縫い合わせる		
27	犬のTシャツ作り㉑	アイロンをあてる		